

山行報告書

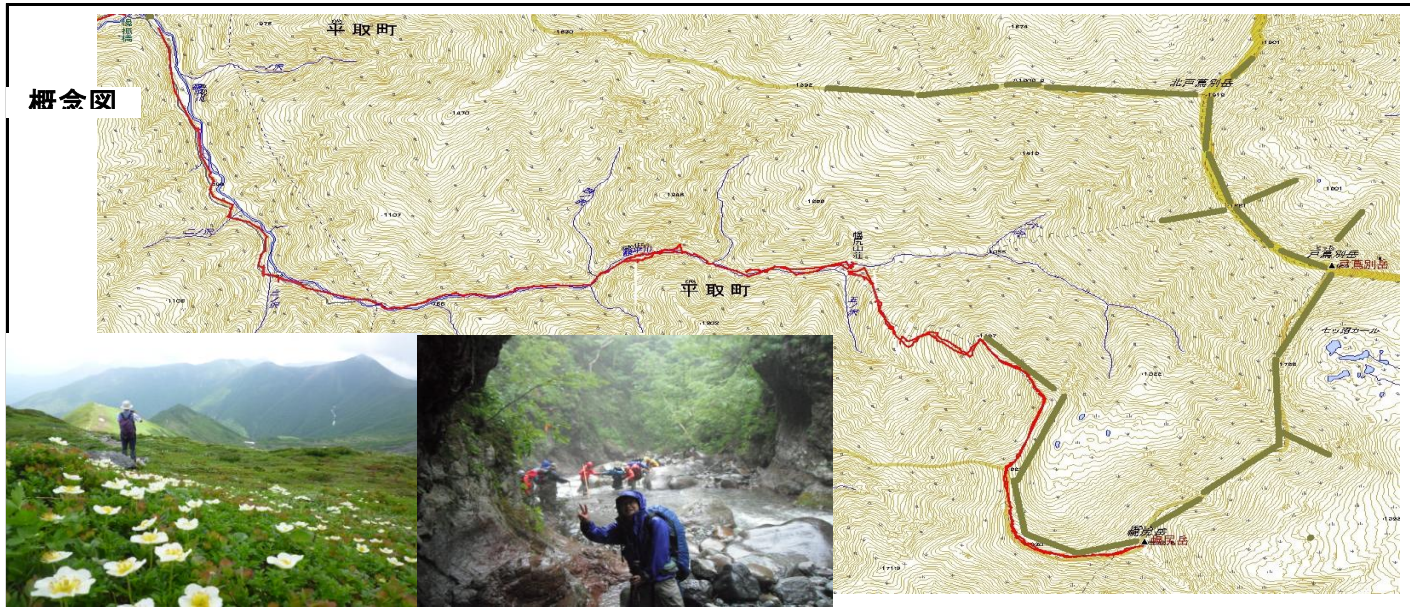
報告書作成

中根

山名 [山域]	日高山脈、最高峰、幌尻岳	目的と方法	幌尻岳登頂
登山期間	2012年7月4日ー5日	山行形態	幌尻山荘泊1泊2日(予備日1日)
メンバー	OAC会員2名		

行動記録 7月4日 12時 とよぬか山荘発(バス)ー12時40分 登山口、50分発ー15時頃から渡渉ー16時45分 幌尻山荘泊 約4時間の歩行

7月5日 3時起床、4時10 幌尻山荘ー6時30分 標高1750m地点ー7時50分 新冠コース合流ー8時 幌尻岳頂上、30分発ー10時05分 標高1500mー11時 幌尻山荘、12時発ー13時30分 渡渉終了ー13時50分ダムー15時30分 ゲート(バスを待つ)17時ー17時40分 とよぬか山荘 登り4時間、下り6時間、合計10時間 天気4日曇り時々晴れ、5日晴れ時々曇り、午後雨



日誌 今回の山旅で最初の山は幌尻岳としたのは山荘まで渡渉が多くあり、水嵩が多い時、死亡事故が発生したことが度々有り、天気の状態を見ながら優先的に登ることにしたからである。

私は4日朝の便で千歳に入るが、とよぬか山荘からのバス最終が12時と言うことで、当日レンタカーを借りていると間に合わない心配が有り、Nさんの配慮で前日車を借り、空港で合流した。

そしてレンタカーの程度の悪いナビに悩みながらも定刻の30分前に、とよぬか山荘に到着できた。乗客は我々2名だけ、貸切状態で登山口に向かった。長い林道歩きの後ダムで沢靴に履き替え沢に入るが、まだ当分必要なかった。山荘到着1時間30分前くらいから沢に沿ったルートとなり20回程度渡渉した。小屋には15名程度の宿泊者がいたが、明日下山組もいた。

当初は戸蔭別山経由で下山する考えでしたが、17時のバスダイヤで下山するのは、困難と分かり、ピストンに変更し、それでも余裕を持ち小屋で1番、4時頃歩きだした。

途中尾根に沿い高度を稼ぐが殆ど雪渓は解け、高山植物の宝庫でした。そして8時には頂上に着いたが視界はあまり良くない。30分くらい視界の回復を待ったが改善に兆しが無いので、下山に入る。小屋に近づくころから雷が鳴りだし、夕立が始まる。

小屋で休憩後、雨足が強くなってきたので、急いで登山口に向かい、少し水嵩が増した時点で渡渉箇所を通過できた。ゲートには17時のバスが待機していたが、17時の定刻まで待ち、とよぬか山荘に向かった。

ここから明日登山する予定のトムラウシの登山口、トムラウシ温泉に向かうが、到着は午後10時を過ぎてしまった。

感想 今回我々が登山した直前の雨量が少なかったこともあり、渡渉の難易度は低く、ロープを出す状況では無かった。また下山時夕立で水嵩が増したが、危険なほどではなかった。

この時期は雪が解けた後、一斉に花が咲きだし、大変満足できる山行でした。